マックス袋とじ機

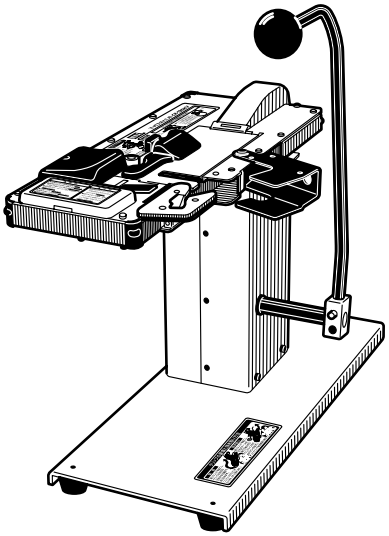
コニクリッパ®

CK-130HV

取扱説明書

⚠ 警 告

●使用前に必ず取扱説明書を読む。
●使用前に必ず正常に作動するか確認する。
正常に作動しない場合は使用しない。
●機械は必ず安定した台に固定する。
●異常を感じたら絶対に使用しない。
●本機を絶対に分解または改造しない。
●袋挿入口・カッタ部には絶対に指を入れない。
●機械内部のコニクリップを取り除く場合は、ラジオペンチ等の工具を使用する。
（16ページ参照）
●レバーを無理に動かさない。レバーが動かなくなった場合は、必ず解除ダイヤルを使ってストッパーを解除する。(17ページ参照)
●指定のコニクリップを必ず使用する。



⚠ 注 意

●コニクリップの装填時以外は、コニクリップ表面を手で触らない。
●コニクリップの表面に極端な油・ホコリ・水を付けない。
●使用前に必ず、コニクリップが充分なかしめ力でとめられているかを確認する。
●マガジンカバー及びドアを必ず閉めて使用する。
●レバーは必ず最後まで（とまるまで）押し下げる。途中でとめるとトラブル（コニクリップのつまり等）の原因となるので、絶対にしない。
●二度打ちは絶対にしない。
●空打ちとなった場合、必ずクリップかしめ部にコニクリップが残っていないかどうか確認して取り除く。
●本機の使用後には、必ず送りユニット・クリップかしめ部の掃除を行う。

●この取扱説明書は常時内容が確認できるよう保管してください。
●本機の仕様は機能向上のため、予告なしに変更することがあります。

MAX®

このたびは、マックス袋とじ機「コニクリッパ」をお買い上げいただきまして誠にありがとうございます。本機の取扱いにあたって、この取扱説明書を最後までよくお読みください。使用上の注意事項、使用方法、能力などについて十分ご理解の上、安全に適切にご使用くださるようお願いいたします。

■表示について

⚠ 警告	この表示は、取扱いを誤った場合に、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される場合を表しています。
⚠ 注意	この表示は取扱いを誤った場合に、使用者が傷害を負う危険が想定される場合および物的損害のみの発生が想定される場合を表しています。また、取扱いを誤った場合には、機械本来の性能を発揮しないばかりでなく本機の損傷につながる事が想定される場合を表しています。

■絵表示について

禁止

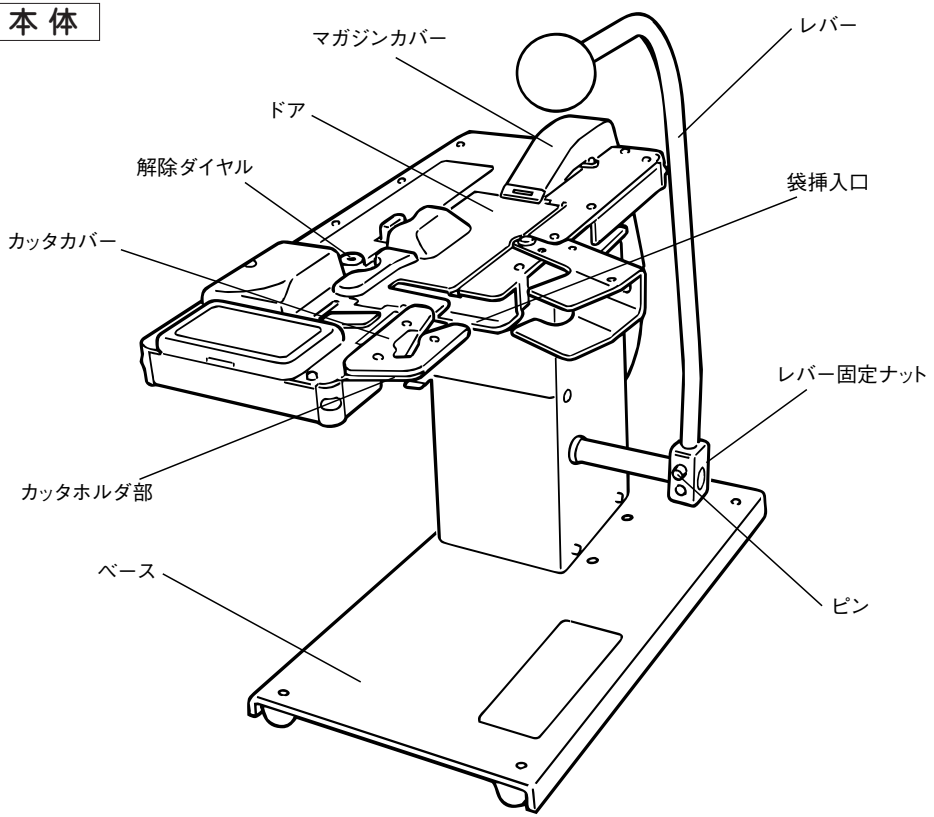
この記号は「してはいけないこと」を意味しています。この記号の中や近くの表示は具体的な禁止内容です。

目　　次

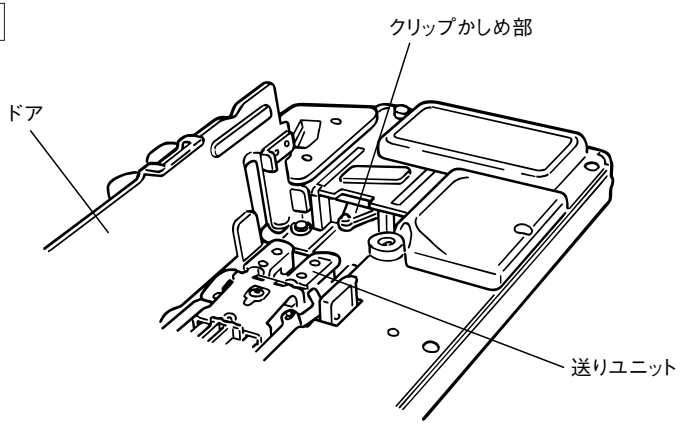
1. 各部の名称 …… 1
2. 安全作業のために …… 2
3. 仕様及び付属品 …… 7
4. 組み立て・固定方法 …… 8
5. 使用方法 …… 10
6. コニクリップの取り除き方 …… 16
7. レバーが動かなくなった時の解除方法 …… 17
8. カッタの交換方法 …… 18
9. 性能を維持するために …… 19
10. アフターサービス、補修用性能部品について …… 21
全国販売拠点、サービス拠点一覧

1 各部の名称

本 体



本体内部



2 安全作業のために

本機は、青果物などを包装するビニール袋、防曇袋、ネットなどの袋口をコニクリップで結束する事を目的とした機械です。水を含んだ内容物の袋の口止めなどの用途には使用できません。指定以外の用途、使用方法は重大な事故につながる恐れがあるため、この取扱説明書の記載事項を厳守してください。特にコニクリップ表面に油、ホコリ、水がついていると、結束後コニクリップが正常にとじられなかったり、搬送中に袋からコニクリップがはずれる可能性がありますので、充分注意してください。作業関係者以外、特に子供は作業場所に近づけないでください。また、本機に触れさせないでください。

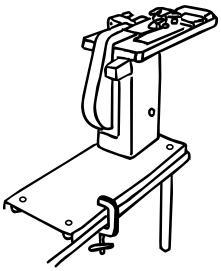
作業前

⚠ 警 告

❶安定した台に必ず固定する。

本機を設置する作業台の安定性が悪いと、倒れたりして危険ですので、必ず安定した台を使用してください。また、作業中に本機が動いたり、倒れたりすることのないよう、付属のクランプまたはベース部の釘穴を利用し、釘等で固定してください。固定は必ず作業前に行ってください。

❶

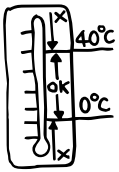


❷周囲温度が0℃～40℃の範囲で必ず使用する。

周囲温度が0℃より低い場合は、コニクリップが充分なかしめ力でとめられない可能性があります。また、40℃を超える場所で使用しないでください。

※コニクリップの温度も0℃～40℃の範囲で使用してください。コニクリップの保存温度が0℃より低い場合や、40℃より高い場合は30分以上おいて周囲の温度になじんでからご使用ください。

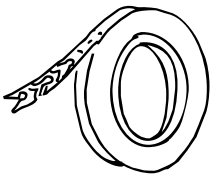
❷



❸指定のコニクリップを必ず使用する。

指定されたコニクリップと異なるものを使用すると本機の故障や事故の原因となりますので、必ず指定のコニクリップをご使用ください。（7ページ参照）

❸



2 安全作業のために

⚠ 警 告

❹コニクリップの装填以外は、コニクリップ表面を手で触らない。

❺コニクリップの表面に、極端な油、ホコリ、水をつけない。

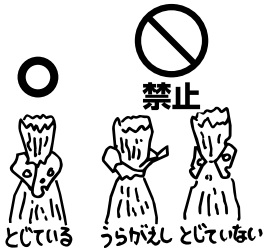
かしめたコニクリップの外れにつながる可能性がありますので、コニクリップの表面はなるべく手で触らないでください。また、極端な油、ホコリ、水をつけないでください。万一、コニクリップ表面に油、ホコリ、水がついた時は、乾いたきれいな布で拭き取り、充分乾燥させてからご使用ください。

❹❺

❻使用前に必ず正常に作動するか確認する。正常に作動しない場合は使用しない。

使用前に品物が入っていない空の袋を挿入し、本機が正常に作動するか確認してください。そのときに袋をとじているコニクリップの形状が図❻の正常な状態になっているか確認してください。また、搬送中に袋からコニクリップがはずれる可能性がありますので、コニクリップが充分なかしめ力でとめられているか、コニクリップが簡単に袋から抜けないか確認してください。結束したコニクリップの形状が異常だったり、機械が正常に作動しない場合は、お買い求めの販売店、又はマックスサービス㈱に点検・修理に出してください。

❻



❼作業環境に応じた服を着用する。

作業のじゃまになったり、機械に引き込まれたりすることのないような服、手袋などを着用してください。

❼

2 安全作業のために

⚠ 警 告

❽作業場所を常に整理する。

作業場所が乱雑だとつまづくなどして思わぬ事故の原因となります。作業場所は常に整理整頓をして安定した姿勢で作業を行ってください。

❽

作業中

⚠ 警 告

❶異常を感じたら絶対に使用しない。

作業中に本機の調子が悪かったり、異常を感じたら、ただちに使用を中止してください。異常のある場合はお買い求めの販売店、又はマックスサービス㈱に点検・修理に出してください。

❶

❷袋挿入部（袋を挿入・結束するところ）、カッタ部に絶対に指を入れない。

❸機械内部のコニクリップを取り除く場合は、ラジオペンチ等の工具を使用する。（16ページ参照）

袋挿入部の内部は、送りユニット・クリップかしめ部が作動しています。また、カッタ部の中にはカッタがあります。危険ですから、絶対に指を入れないでください。

❷❸

2 安全作業のために

⚠ 警 告

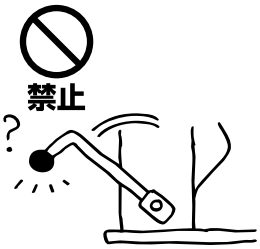
❹空打ちを絶対にしない。

結束物を挿入せずに作動させると、クリップかしめ部にクリップが残り、本機の破損やトラブルの原因につながりますので､絶対に行なわないでください。

❺レバーは必ず最後まで（とまるまで）押し下げる。

作業中、レバーを途中でとめるとトラブル（コニクリップのつまり・かしめ力の低下）の原因となりますので、絶対にしないでください。

❺



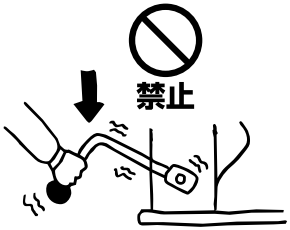
❻2度打ちを絶対にしない。

2度打ち（空打ち時や、結束物を取り除かずクリップかしめ部にコニクリップが残った状態で続けて結束する事）をすると、本機の破損やトラブルの原因となります。絶対にしないでください。

❼レバーを無理に動かさない。

レバーが止まる位置よりも無理に押し下げたり、コニクリップがつまった場合に無理にレバーを動かすと、本機の破損やトラブルの原因となります。絶対にしないでください。万一レバーが動かなくなった場合は、必ず解除ダイヤルを使ってストッパーを解除してください。（17ページ参照）

❼



2 安全作業のために

作業後

⚠ 警 告

❶本機を大切に手入れする。

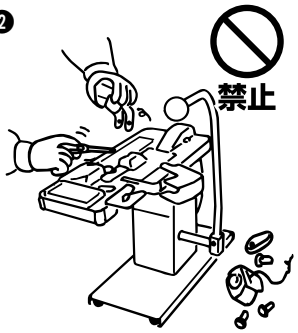
作業終了時には、性能維持・故障防止のため、16ページの手入れの仕方の手順に従って、必ず本機を掃除してください。また、本機に注油しないでください。

❶

❷指定された消耗部品交換以外は、本機を絶対に分解しない。

指定された消耗部品（替え刃）の交換以外は本機を絶対に分解しないでください。万一故障した時は、お買い求めの販売店、又はマックスサービス㈱に点検・修理に出してください。

❷



❸本機を絶対に分解・改造しない。

本機を分解または改造すると、本来の性能が発揮されないばかりでなく安全性が損なわれますので、絶対にしないでください。

❸

3 仕様及び付属品

商　品　名	マックス袋とじ機 コニクリッパ
商 品 記 号	CK-130HV
寸　　法	（W）210 ×（D）478 ×（H）480mm
質　　量	11.3kg
コニクリップ装填数	1,000枚
使用温度範囲	0～40℃
付　属　品	クランプ ……1ヶ スパナ ……1ヶ ピン ……1ヶ レバー固定ナット ……1ヶ レバー ……1ヶ バネ座金 ……1ヶ

〈コニクリップ使用範囲〉

商品記号	CKS-230＊／シュドウ		CKS-330N＊／シュドウ	
	＊にはコニクリップ色が入ります。			
袋種類	ビニール袋		ネット袋（棒ネット）	
袋　幅	100～230mm		折　径	240～320mm
厚　み	OPP	PE	目　数	80
	20～25ミクロン	30～40ミクロン		
内容物質量	1,000g以下		1,500g以下	
コニクリップ色	レッド、グリーン、イエロー、ホワイト、ライトブルー、ライトブラウン、ゴールド		レッド、グリーン、イエロー	

※内容物や袋の種類によっては充分な結束力が得られない場合があります。作動前に必ず確認し、ご使用ください。
※本機では、2,000枚巻のコニクリップは使用することができません。必ず指定の1,000枚巻コニクリップをご使用ください。

4 組み立て・固定方法

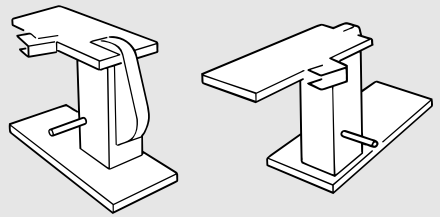
⚠ 警 告

●安定した台に必ず固定する。

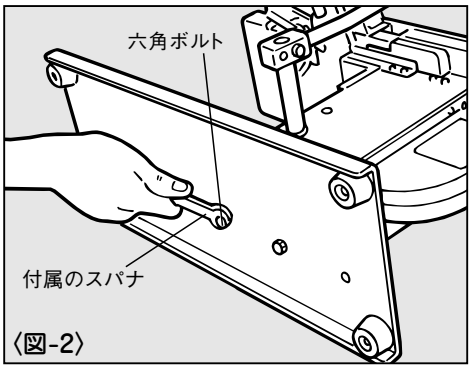
❶本体とベースユニットの組み立て

※本体とベースユニットは、逆向きの取り付けも可能です。作業台の形に応じて、ベースユニットの取付け向きを変えてください。 **〈図-1〉**

〈図-1〉

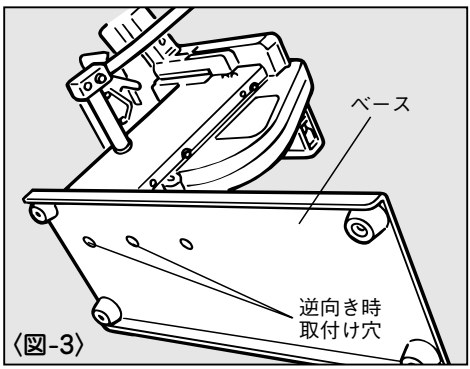


1)本体底面の2本の六角ボルトを付属のスパナでゆるめ、ベースを取り外してください。 **〈図-2〉**



〈図-2〉

2)ベースの取付け向きを変え、六角ボルトで固定し、スパナで強く締め付けてください。 **〈図-3〉**



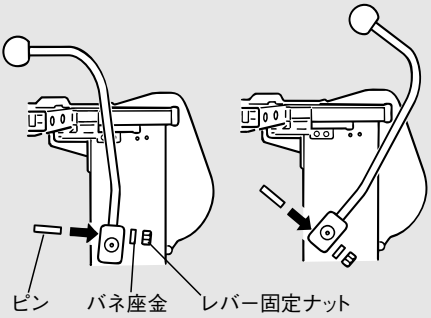
〈図-3〉

❷レバーの取り付け

本機は作業者のお好みに合わせて、2段階にレバーの角度を調節できます。

メインシャフトにレバーをハメこみ、図の様にピンで固定し、付属のバネ座金とレバー固定ナットで締め付けてください。 〈図-4〉

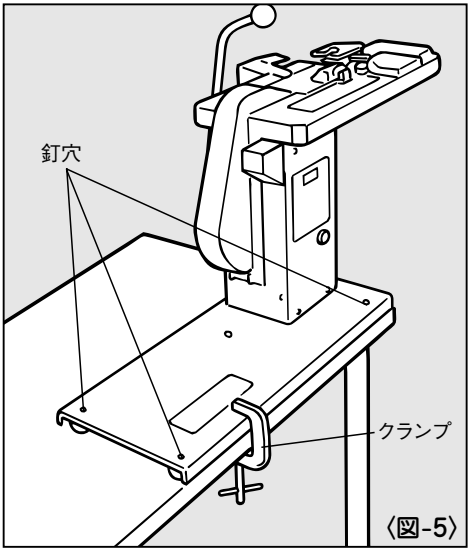
〈図-4〉



❸本機の固定

本機の設置場所が決まりましたら、安定した台に付属のクランプで固定してください。 〈図-5〉

又はベースの釘穴を利用し、釘等で固定してください。



〈図-5〉

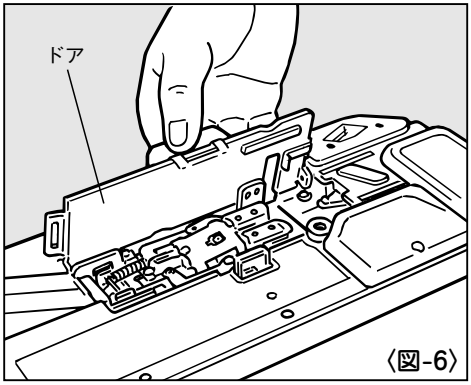
5 使用方法

❶コニクリップの装填

⚠警 告

●指定のコニクリップを必ず使用する。
●コニクリップの装填時以外は、コニクリップ表面を手で触らない。

1)本体のドアの取っ手をつまんで開けてください。 〈図-6〉

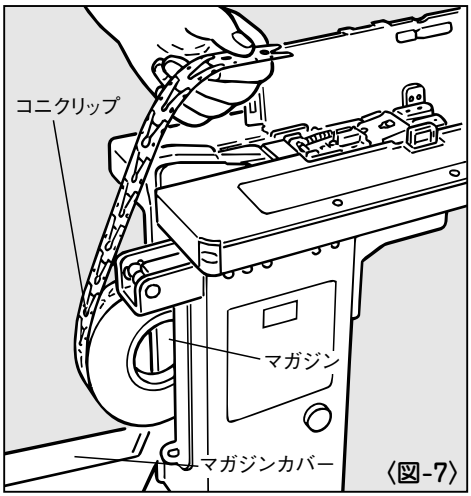


〈図-6〉

2)マガジンカバーを開けて、コニクリップをセットし、コニクリップの先端を引き出します。 〈図-7〉

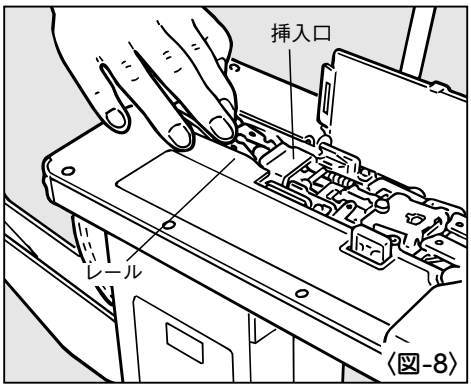
※コニクリップをとめているテープは取り外してご使用ください。

※かしめたコニクリップの外れにつながる可能性がありますので、コニクリップの表面はなるべく手で触らないでください。また、極端な油、ホコリ、水を付けないでください。万一、コニクリップ表面に油、ホコリ、水が付いた時は、乾いたきれいな布で拭き取り、充分乾燥させてからご使用ください。



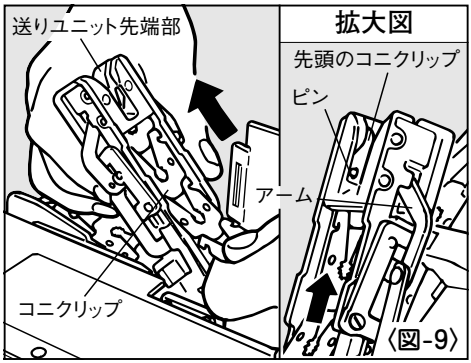
〈図-7〉

3)コニクリップをレールに沿って挿入口から指で送り込みます。 〈図-8〉



〈図-8〉

4)送りユニットを起こして、コニクリップを矢印の方向に差し込んでください。
この時左右のアームについているピンとコニクリップの2つの穴が確実にセットされたことを確認してください。(カチッと音がします)　〈図-9〉

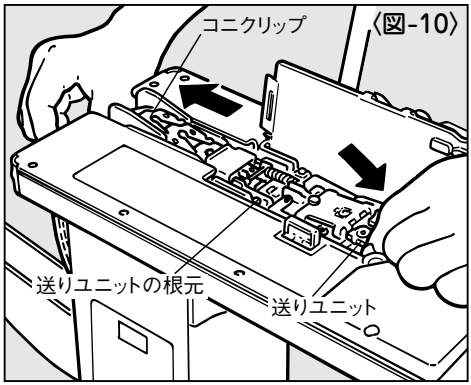


〈図-9〉

⚠ 注 意

●マガジンカバー及びドアを必ず閉めて使用する。

5)コニクリップをマガジン方向に引きながら、コニクリップが送りユニットの根元で折れ曲がらないように注意して、送りユニットを元の状態に戻してください。
〈図-10〉



〈図-10〉

6)マガジンカバーを先に閉じ、その上からドアを確実に閉めます。(この時、マガジンカバーの突起部がドアの穴部にセットされるようにしてください。)

❷袋とじ・カット方法

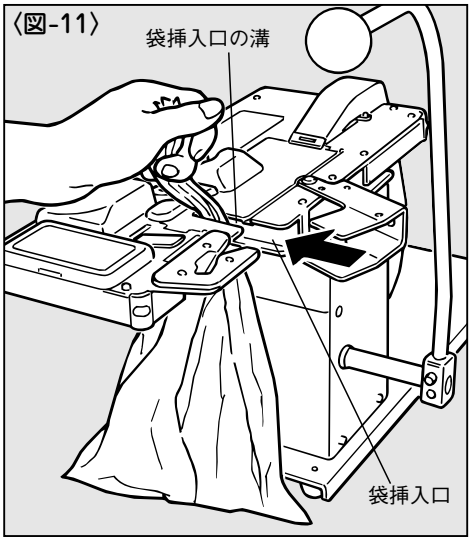
⚠ 警 告

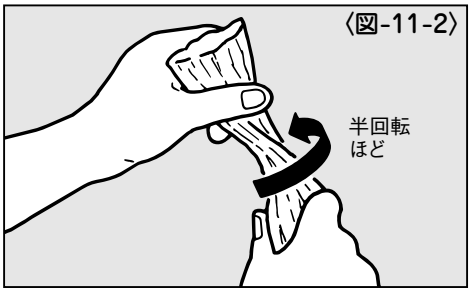
●使用前に必ず正常に作動するか確認する。正常に作動しない場合は使用しない。
●機械は必ず安定した台に固定する。
●袋挿入口・カッタ部には絶対に指を入れない。
●レバーを無理に動かさない。レバーが動かなくなった場合は、必ず解除ダイヤルを使ってストッパーを解除する。（17ページ参照）
●指定のコニクリップを必ず使用する。

⚠ 注 意

●使用前に必ず、コニクリップが充分なかしめ力でとめられているかを確認する。
●マガジンカバー及びドアを必ず閉めて使用する。
●レバーは必ず最後まで（とまるまで）押し下げる。途中でとめるとトラブル（コニクリップのつまり等）の原因となるので、絶対にしない。
●2度打ちは絶対にしない。
●空打ちとなった場合、必ずクリップかしめ部にコニクリップが残っていないかどうか確認して取り除く。
●袋は1回以上ねじらないでください。強くねじりすぎると結束する部分が堅くなり、結束できないことがあります。

1)使用前に必ず正常に作動するか確認してください。
品物が入っていないカラの袋を半回転ほどねじり、袋を挿入口に入れ易くして挿入してください。袋は袋挿入口の左側に寄せてください。 〈図-11〉〈図-11-2〉

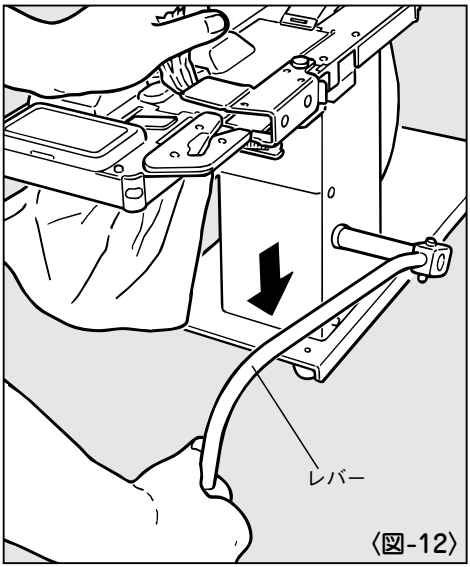




2)レバーを押し下げると、機械が作動して袋をとじる事ができます。袋をとじる時は、レバーを動かなくなる所までいっぱいに引いてください。〈図-12〉

※レバーを途中で止めるとトラブル（コニクリップづまり・かしめ力の低下等）の原因となります。

※何らかの原因でレバーが動かなくなった時は、逆方向には、絶対に無理に動かさない（レバーを戻そうとしない）でください。解除ダイヤルを使って解除してください。（17ページ参照）

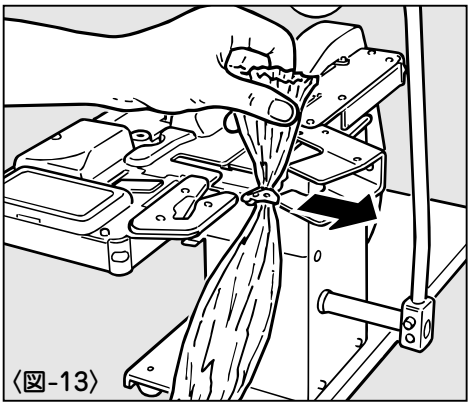


〈図-12〉

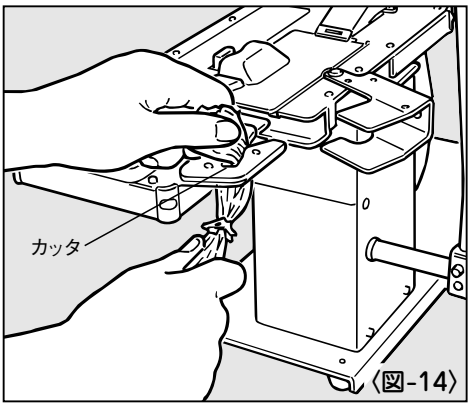
⚠注 意

●低温（0℃以下）でレバーをゆっくりと引いた時に、かしめ力が弱くクリップが外れる場合があります。レバーを引き終わるまでを約1秒以内に行ってください。

3)とじ終わった袋は必ず横に取り出します。〈図-13〉


〈図-13〉

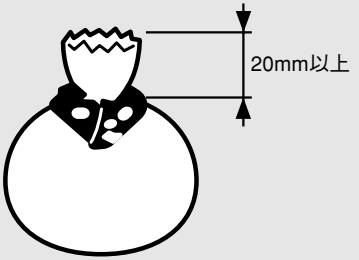
4)余分な部分をカッタで切り取ります。〈図-14〉



〈図-14〉

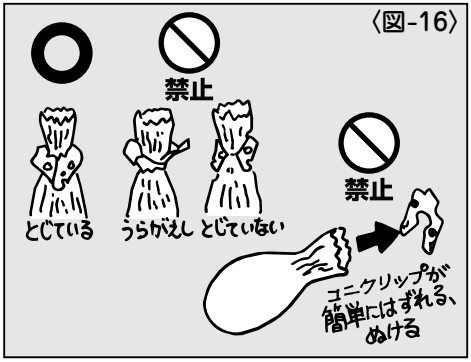
5)コニクリップの抜け防止のため、カットの際には袋上部の寸法（クリップ部から袋口まで）を20㎜以上になるよう行ってください。 〈図-15〉

〈図-15〉

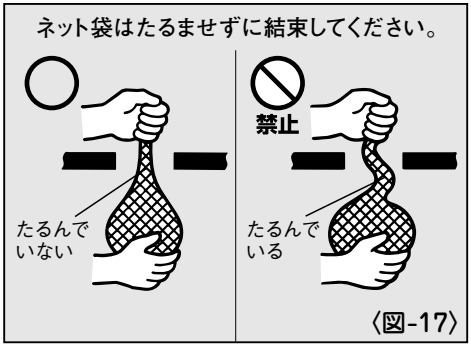


6)とじ終わった袋を取り出したら、袋をとじているコニクリップの形状が正常な状態になっているか確認してください。また、搬送中に袋からコニクリップがはずれる可能性がありますので、コニクリップが充分なかしめ力でとめられているか、コニクリップが袋から簡単に抜けないか確認してください。 〈図-16〉

〈図-16〉



7)品物を入れた袋で1)～6)に従って作業を行ってください。ネット袋の場合は、コニクリップがネット袋から抜ける可能性がありますので、ネット上部をたるませずに結束してください。 〈図-17〉



〈図-17〉

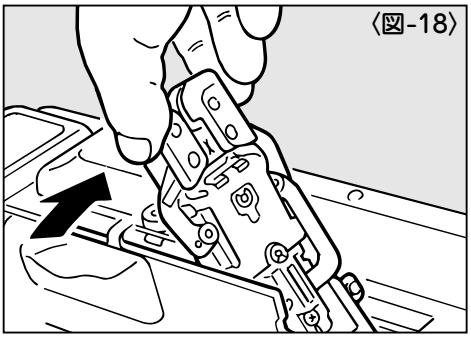
❸コニクリップの抜き取り、交換方法

⚠ 注 意

●コニクリップの表面に極端な油、ホコリ、水をつけない。

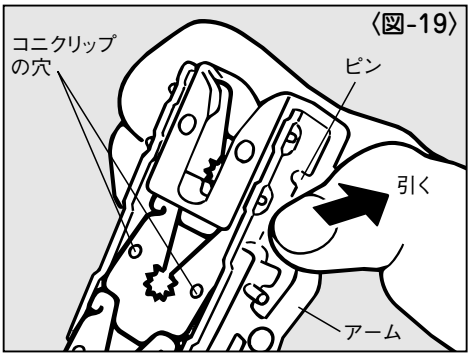
1)本体のドアの取っ手をつまんで開けてください。 （10ページ参照）

2)送りユニットを起こします。 **〈図-18〉**

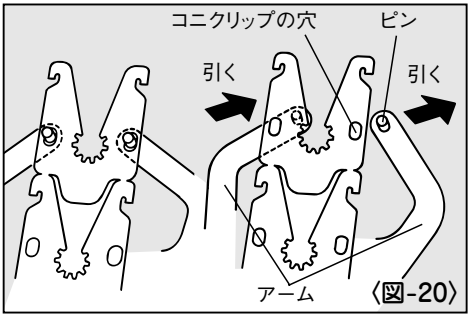


〈図-18〉

3)左右のアームを引き、コニクリップの穴からピンを外します。 **〈図-19〉〈図-20〉**

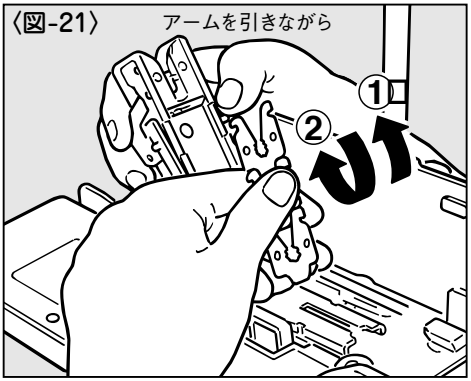


〈図-19〉



〈図-20〉

4)左右のアームを引きながら、コニクリップを抜き取ります。この時、一度矢印①の方向にズラしてから、矢印②のように抜き取ってください。 **〈図-21〉**



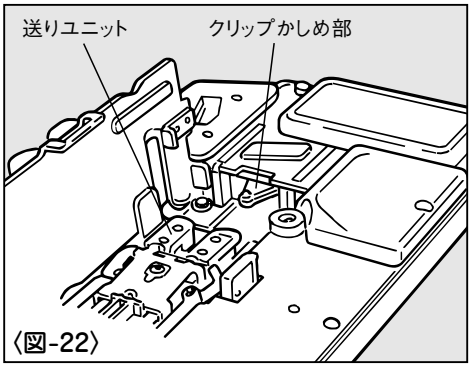
〈図-21〉

❹本機を掃除する

⚠ 注 意

●本機の使用後には、必ず送りユニット・クリップかしめ部の掃除を行う。

作業終了時には、本機の性能維持・故障防止のため、必ず掃除を行ってください。
特に、送りユニット・クリップかしめ部にゴミ等が残っていますと、コニクリップが正しく結束できなかったり、機械が故障したりする原因となります。
使用後は、乾いたタオル等でカラ拭きし、ホコリやゴミを充分に取り除いてください。 **〈図-22〉**



〈図-22〉

6 コニクリップの取り除き方

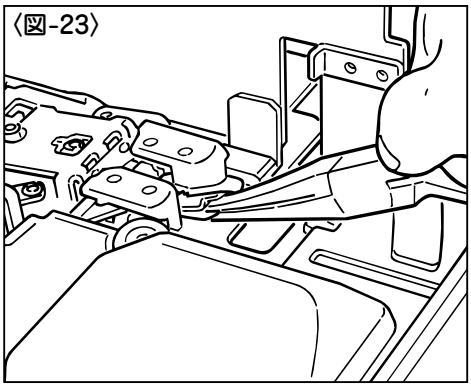
⚠ 警 告

●機械内部のコニクリップを取り除く場合は、ラジオペンチ等の工具を使用する。

機械かしめ部につまったコニクリップを取り除く時は､以下の手順で行ってください。

1)本体のドアの取っ手をつまんで開けてください。
2)ラジオペンチ等の工具で、コニクリップを取り除いてください。 **〈図-23〉**

なお、どうしても取り除けない時は、お買い求めの販売店、又はマックスサービス㈱に修理に出してください。

〈図-23〉


7 レバーが動かなくなった時の解除方法

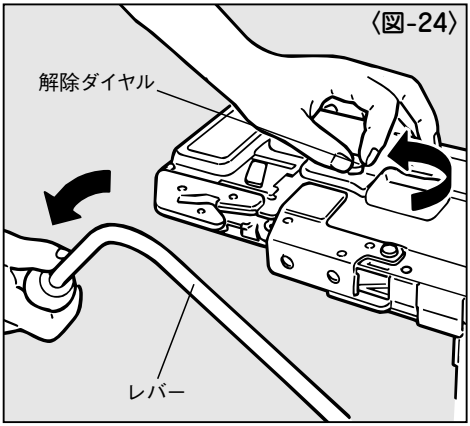
⚠ 警 告

●レバーを無理に動かさない。

レバーが動かなくなった場合は、必ず解除ダイヤルを使ってストッパーを解除する。

レバーを押し下げても動かない時は、機械内部にコニクリップがつまる等の原因が考えられます。このような時は、以下の手順にそってストッパーを解除してください。

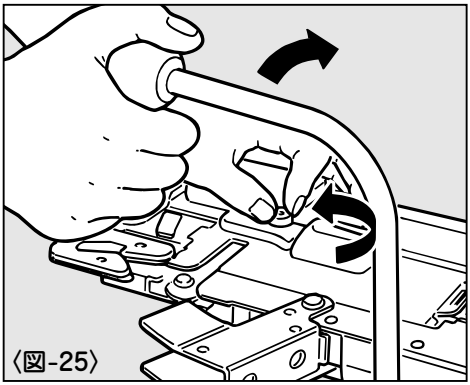
1)レバーを下げながら解除ダイヤルを矢印の方向にまわす。 **〈図-24〉**



〈図-24〉

2)解除ダイヤルを矢印の方向に回し、保持した状態でレバーを元の位置に戻す。 **〈図-25〉**

3)ドアを開け、クリップかしめ部にコニクリップが残っていたら取り除いてください。（16ページ参照）


〈図-25〉

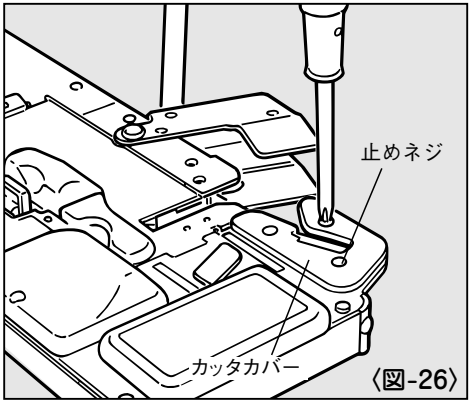
8 カッタの交換方法

⚠ 警 告

●替え刃の取り扱いには充分に注意する。

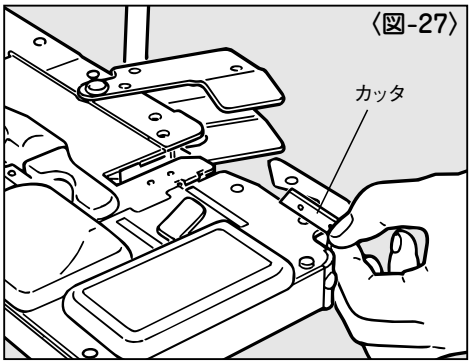
カッタが切れなくなった場合には、お買い求めの販売店、又はマックスサービス㈱でお買い求めになり、次の手順に従って交換してください。

1)カッタカバーの止めネジをはずし、カッタカバーを取りはずします。 〈図-26〉



〈図-26〉

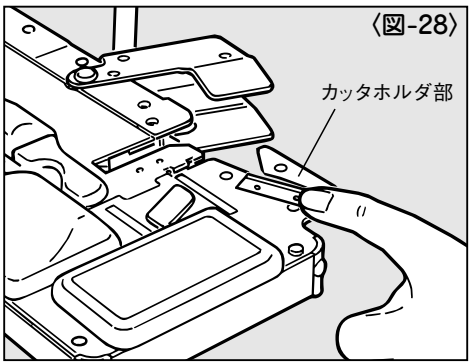
2)刃の部分に注意して、カッタを取りはずします。 〈図-27〉



〈図-27〉

3)カッタホルダ部のピンに合わせて、新しいカッタをセットします。 〈図-28〉

4)カッタカバーをかぶせて、止めネジを締めれば完了です。

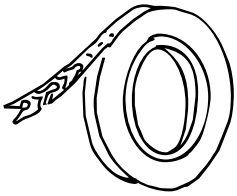


〈図-28〉

9 性能を維持するために

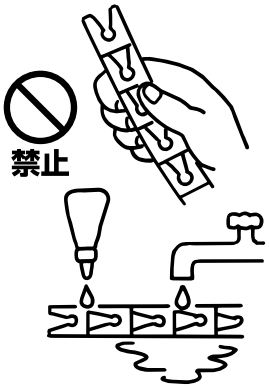
❶指定のコニクリップを必ず使用する。

指定されたコニクリップと異なるものを使用すると本機の故障や事故の原因となりますので、必ず指定のコニクリップをご使用ください。



❷コニクリップに、油、ホコリ、水をつけない。

コニクリップが充分なかしめ力でとめられず、搬送中に袋からコニクリップがはずれる可能性がありますので、コニクリップの表面に極端な油、ホコリ、水をつけないでください。また、本体への装填時以外にコニクリップの表面はなるべく手で触らないでください。万一、コニクリップ表面に油、ホコリ、水がついた時は、乾いたきれいな布で拭き取り、充分乾燥させてからご使用ください。



❸空打ちを絶対にしない。

結束物を挿入せずに空打ちをすると、本機の破損やトラブルの原因につながりますので、絶対に行なわないでください。

❹2度打ちを絶対にしない。

2度打ち（空打ち時や、結束物を取り除かずクリップかしめ部にコニクリップが残った状態で続けて結束する事）をすると、本機の破損やトラブルの原因となります。絶対にしないでください。

❺異常を感じたら絶対に使用しない。

作業中に本機の調子が悪かったり、異常を感じたら、ただちに使用を中止してください。異常のある場合はお買い求めの販売店、又はマックスサービス㈱に点検・修理に出してください。

❻本機を掃除する。

作業終了時には、本機の性能維持・故障防止のため、必ず掃除を行ってください。
（16ページ参照）
特に、送りユニット・クリップかしめ部は、乾いたタオル等でカラ拭きし、ホコリやゴミを充分に取り除いてください。
また、本機に注油はしないでください。

❼定期的に点検する。

本機の性能を維持するために、カッタの交換・内部の性能・グリスアップ等を行う必要があります。使用回数20万回を目安にオーバーホールを行ってください。ご用命は、お買い求めの販売店、又はマックスサービス㈱にお申しつけください。

10 アフターサービス、補修用性能部品について

【アフターサービスについて】

●本機の調子が悪いときは、使用を中止して、お買い求めの販売店、又はマックスサービス㈱にご相談ください。

【補修用性能部品の最低保有期間】

●本機の補修用性能部品の最低保有期間は、製造打ち切り後6年です。

●補修用性能部品とは、本機の性能を維持するために必要な部品です。

この取扱説明書は再生紙を使用しています。

MAX®

マックス株式会社

本社・営業本部	〒103-8502 中央区日本橋箱崎町６－６	TEL(03)3669-8121㈹
札幌支店	〒060-0041 札幌市中央区大通東６－12－８	TEL(011)261-7141㈹
仙台支店	〒984-0002 仙台市若林区卸町東２－１－29	TEL(022)236-4121㈹
東京支店	〒103-8502 中央区日本橋箱崎町６－６	TEL(03)3669-8118㈹
名古屋支店	〒461-0025 名古屋市東区徳川１－11－23	TEL(052)935-8531㈹
大阪支店	〒553-0004 大阪市福島区玉川１－３－18	TEL(06)6444-2031㈹
広島支店	〒733-0035 広島市西区南観音７－11－24	TEL(082)291-6331㈹
福岡支店	〒812-0006 福岡市博多区上牟田１－５－１	TEL(092)411-5416㈹
盛岡営業所	〒020-0824 盛岡市東安庭２－10－３	TEL(019)621-3541㈹
宇都宮営業所	〒321-0933 宇都宮市簗瀬町2313	TEL(028)636-3012㈹
柏営業所	〒277-0871 柏市若柴297－12	TEL(04)7132-1500㈹
多摩営業所	〒190-0022 立川市錦町５－17－19	TEL(042)528-3051㈹
浜松営業所	〒433-8117 浜松市高丘東２－22－15	TEL(053)439-3300㈹
南九州営業所	〒891-0115 鹿児島市東開町３－24	TEL(099)269-5347㈹
新潟マックス㈱	〒955-0081 三条市東裏館２－14－28	TEL(0256)34-2112㈹
水戸マックス㈱	〒310-0043 水戸市松ヶ丘２－３－27	TEL(029)255-3761㈹
群馬マックス㈱	〒371-0844 前橋市古市町233－５	TEL(027)210-7755㈹
埼玉マックス㈱	〒331-0823 さいたま市北区日進町３－421	TEL(048)651-5341㈹
千葉マックス㈱	〒284-0001 四街道市大日1870－１	TEL(043)422-7400㈹
横浜マックス㈱	〒241-0822 横浜市旭区さちが丘７－６	TEL(045)364-5661㈹
長野マックス㈱	〒399-0033 松本市笹賀8155	TEL(0263)26-4377㈹
長野営業所	〒381-2247 長野市青木島１－35－１	TEL(026)285-6740㈹
静岡マックス㈱	〒422-8036 静岡市敷地１－３－26	TEL(054)237-6116㈹
金沢マックス㈱	〒921-8061 金沢市森戸２－15	TEL(076)240-1871㈹
富山営業所	〒930-0827 富山市上飯野字樋向割10－８	TEL(076)452-0182㈹
福井営業所	〒918-8237 福井市和田東２－1711	TEL(0776)27-3378㈹
京滋マックス㈱	〒612-8414 京都市伏見区竹田段ノ川原町９	TEL(075)645-5061㈹
兵庫マックス㈱	〒652-0832 神戸市兵庫区鍛冶屋町2-1-2	TEL(078)652-7370㈹
三木営業所	〒673-0404 三木市大村109－１	TEL(0794)83-2121㈹
岡山マックス㈱	〒700-0971 岡山市野田３－23－28	TEL(086)246-9516㈹
四国マックス㈱	〒761-8056 高松市上天神町761－３	TEL(087)866-5599㈹
徳島営業所	〒770-0866 徳島市末広１－４－25	TEL(088)623-0286㈹
松山営業所	〒790-0951 松山市天山２－１－35	TEL(089)913-0608㈹
マックスサービス㈱札幌	〒060-0041 札幌市中央区大通東６－12－８	TEL(011)231-6487㈹
マックスサービス㈱仙台	〒984-0002 仙台市若林区卸町東２－１－29	TEL(022)237-0778㈹
マックスサービス㈱高崎	〒370-0031 高崎市上大類町412	TEL(027)350-7820㈹
マックスサービス㈱埼玉	〒331-0823 さいたま市北区日進町３－421	TEL(048)667-6448㈹
マックスサービス㈱名古屋	〒461-0025 名古屋市東区徳川１－11－23	TEL(052)935-8210㈹
マックスサービス㈱大阪	〒553-0004 大阪市福島区玉川１－３－18	TEL(06)6446-0815㈹
マックスサービス㈱広島	〒733-0035 広島市西区南観音７－11－24	TEL(082)291-5670㈹
マックスサービス㈱福岡	〒812-0006 福岡市博多区上牟田１－５－１	TEL(092)451-6430㈹

●マックスお客様ご相談ダイヤル(無料) 0120-228-358
月～金曜日 午前9時～午後6時

●住所、電話番号などは都合により変更になる場合があります。

040227-01/00